

正覚寺だより

スジャータ

61

平成29年(2017)

元旦発行

〔スジャータとは、6年間の苦行に疲れたお釈迦様に牛乳で作ったお粥を供養したインドの女性の名前である〕

短期集中 仏教講座

ご じゅう そう でん

五重相伝

● 平成30年10月31日(水)より5日間

東京法要

3月までのおもな行事



東京法要を勤めた浄土宗7大本山の1つ、港区 増上寺

[住職のつぶやき]

耐える

— 一天^{ようせい}逝の娘を語らず 母老いる —



[住職のつぶやき]

耐える

— 夭逝ようせいの娘を語らず 母老いる —

住職／山縣 正紀

(1)

兄弟姉妹がいて、仲良くされている方々を何時も羨ましく思う。

私の兄は生後10日ほどで亡くなったらしい。6つ離れた妹は2年間患い23歳の若さで極楽へ往ってしまった。元気でいれば3人兄妹のはずだが、1人になってしまい未だに寂しく感じている。

もちろん両親の胸の中、その悲しみは私の比ではなかったと思う。

先代住職である父は、私たち兄妹に対して何も言わなかった。母は私たちを比較的厳しく育てた。特に妹には、

「いずれは嫁いでゆくものだから、行った先で何があっても辛抱出来るように」と、家事や正覚寺の掃除などを小さい時から教え手伝わせていた。

「持たすモノは何も無い。身につけたモノだけが財産だから」

と言って、華道、茶道、書道などをはじめ多くの習い事を早くから始めさせた。

だが妹もそれによく応えて、出会った多くの大人達にも可愛いがって頂き、また本人も楽しんでいたので、それほど厳しく感じていなかったかも知れない。



妹と母



それは母親としての愛情の一つだと理解していたと思う。

又、笑いながらまだ小学生の妹に、「あなたはブラジルへ嫁にやる」と何度か話していた。一般の人が海外へ渡航する事すら、まだまだ珍しい時代だったので、

「冗談とはいえ何でブラジル？」
と思ひながら私は聞いていた。一度行ったらそう簡単には帰れない地球の裏側、母自身も行ったことのないブラジルを遠い処の代名詞として使ったのだろう。

だが妹が成人して、大阪在住の青年と婚約か？という事になりそうだった時、

「大阪は遠いね」
と心配する母の言葉を聞いて、「ブラジルに較べたら隣の町みたいなものだ」
と思った。

(2)

京都の短大を卒業して呉へ帰り、幼稚園の先生をさせて頂いていた。でも元気だったのは僅か21歳まで、ブラジルどころか本当に遠い処へ往ってしまった。

今にして思えば儂い夢のような人生、誠に短い青春だった。私は、

「こんな淡い生涯ならば、もっともっと自由気ままに、わがままにさせてやりたかった」

と後悔した。

口にはしなかったが、母もきっとそう思ったに違いない。

両親共、悲しさと無念さは胸の中で渦を巻き、それは尽きなかったと思う。

言葉にすればそれだけのものに、そして薄っぺらいものになってしまいそうで出来なかったのだろうか。思い出話すらあまり聞いたことがなかった。

至らぬ私と、よくしてくれた私の妻はいても、それでも、

「あの娘が居てくれたらなあ」

と、思う瞬間は多々あったはずだ。

でも、妹の事はすっかり忘れたかの様にそんな愚痴は、両親とも一度も口にしなかったのである。

(3)

母の晩年、その様子を見ながら、

「天逝の娘を語らず母老いる」

と川柳もどきに詠んでみた。天逝とは年若くして亡くなることで、その先立った

子供の冥福を祈ることを逆修ぎやくしゆという。

世間では間々あることだが、最も辛いことの一つではないだろうか。

その母の7回忌をこの正月に迎える。父は来年の正月が7回忌である。両親共に、

「憂い無きが如くに、耐えていたのだろうか」

と、今になって思うのである。

今更、妹に何もしてやることは出来ない。両親の気持ちを察して優しい言葉をかけることも出来ない。

だが、色々な思いを胸に秘めて手を合わせ、読経し念仏を称える時、私の思いは必ず伝わってゆくだろう。

又、伝わって来るものも有るのである。

賀

正

さわやかな新春を

お迎えのことと

お慶び申し上げます

平和で毎日が明るく

天候も穏やかで

災害や病気の流布もなく

国が栄え国民が安心して暮らし

争いもなく徳を尊び

人を思いやり礼儀正しい

そんな世の中になりますように

正覚寺だより「スジャータ」は年頭の賀状も兼ね、全檀信徒にお送りしますので、昨年ご不幸があったご家庭にも年賀として届く失礼をお許し下さい。



前回、平成 25 年の掲示版
(※平成 30 年は 10 月 31 日から始まります)



法話を聴く参加者

総本山知恩院

高齢者招待祝賀会

今年 80 歳を迎える方々
どうぞご参加下さい

- ◆日時 平成 29 年 4 月 18 日(火)
- ◆場所 京都・総本山知恩院
- ◆招待者 昭和 12 年生まれの方と
同伴者 1 名
- ◆申し込み 2 月末日までに正覚寺へ
 - ご出席の方には詳しい案内状をお送り
します。
 - 当日出席出来なくても、申し込みの方
には記念品をお届けします。
- ◆その他 交通費は各自でご負担下さい。

仏法を伝える

ご じゅう そう でん

五重相伝

—短期集中仏教講座—

来年秋に
開催！！

平成 30 年 10 月 31 日(水) から 5 日間
早めにお知らせします
予定に入れておいて下さい

仏教、そして浄土宗の教えを分かりやすく説明
してゆく講座です。専門の御講師を招き、親しみ
やすい連続法話を聴いて頂きます。

戒名を授与いたします

浄土宗では、亡くなってからではなく五重相伝
にて戒名をつけるのが本義です。

詳しくは、後日改めてご案内致します。

修正会と新年互礼会

日時/平成 29 年 1 月 14 日(土)

午前 11 時より 本堂にて

- 毎年、新春を祝う会を行っています。
- 景品の当たる抽選なども行い、誰でも参加出来る
会です。ご遠慮なくお申し込み下さい。

会費 3,500 円(お弁当代他) 申込み 1 月 10 日までに電話などで



昨年の新年互礼会

3月までのおもな行事



1月	14日(土)	11:00~13:00	修正会と新年互礼会
	21日(土)	10:00~12:00	土曜塾(住職の法話・戒名について)
		13:30~15:00	ヨガ教室・詠唱の会
2月	4日(土)	10:00~12:00	写経の会
		13:30~15:00	ヨガ教室・詠唱の会
	18日(土)	10:00~12:00	土曜塾(住職の法話・永代供養について)
		13:30~15:00	ヨガ教室・詠唱の会
3月	4日(土)	10:00~12:00	写経の会
		13:30~15:00	ヨガ教室・詠唱の会
	18日(土)	10:00~12:00	土曜塾(春彼岸会/講師:松島靖朗師)

○どなたでもご自由にお参り下さい。一回限りのご参加でもかまいません。

○写経の会へは、筆記用具だけご持参下さい。他の物はすべて寺で用意致します。

○お手本の上に薄い紙を敷いて書きますから、初めての方でも大丈夫です。

○いずれの日も、12:00 から 15:00 までは「フリースペース^{イチャソ}土曜」として正覚寺を開放しておりますのでご自由にお使い下さい。



感 謝 録

現在の正覚寺の中で一番新しいのは、屋内墓所のある鉄筋コンクリート造りの建物です。それでも昭和48(1973)年の完成で、築後43年が経過しています。

庫裡はそれ以前の昭和30(1955)年、本堂は更に古く昭和27(1952)年に造られました。

従って、気持ちよくお参りして頂くためには、常にどこかの補修や改良が必要です。皆さまから頂いたご厚志は、そんな工事費の一部にも使わせて頂き心から感謝致しております。

例えば昨年は、鉄筋コンクリート4階建の外壁補修、防水、塗装工事、客殿の老朽化したクーラーを通年使える空調設備に交換。又、木造部分も含め埋設されているガス管の交換新設なども行いました。

正覚寺としては2回目の

『東京法要』を勤めました

平成28年9月4日(日) 13:30から

大本山 増上寺 大殿にて



首都圏在住の檀家の皆さまとの絆を深める為に行っています。石見教区（島根県西部の浄土宗寺院の集まり）主催の法要に、特別に加えて頂き実施したものです。

正覚寺からも住職と副住職共に参加し、8家族14人がお参りして下さいました。28か寺による合同開催で、34名の僧侶と360人余りの参詣者で盛大な法要となりました。

故人の戒名を読み上げてご回向する法要の後、大殿前で石見神楽の奉納も行われ、1,000人を上まわる鑑賞者で賑わいました。



平成28年 檀家会費・会計報告

(単位：円)

収入の部

年会費・一口 3,000円
受付・9月末日まで随時

- 送金には郵便振替が便利です。
 口座番号・01300-5-13754
 加入者名・浄土宗 正覚寺
 ※近くの郵便局にある振替用紙をご利用下さい。
- ご持参頂ければ、お彼岸などの法要の時にも受付けております。

支出の部

○昨年も、皆さまのご協力をいただき、誠に有り難うございました。
 ○今まで未納の方々にも、今年よりお納め頂ければ幸いです。よろしくお願い致します。

開山上人の墓石を移築しました

開山上人、つまり呉市における正覚寺初代住職（正覚寺は大阪、今の堺市で慶長年間に創設され、明治36年に呉へ^{せんい}遷移された）のご遺骨を屋内墓所「還浄殿」へ^{げんじょうでん}遷座納骨し、その墓石を撤去して更地にしました。

墓石は永年の汚れや水垢をクリーニングし、新たに納骨口を設け西条の随泉寺へ移築して、これからの随泉寺歴代住職も一緒に入る「永代供養合同墓」として生まれ変わりました。



撤去前



撤去後

床下吸気口を設けました

本堂と^{くり}庫裡の床下には、床下換気扇を設置して湿気防止のためにタイマーを使い昼間は常時運転していますが、それでもカビ臭さがあります。この度、その効率を上げるために、本堂の床に4ヶ所、庫裡の壁に2ヶ所の吸気口を設けました。

以前、シロアリに床や床下を食い荒らされる被害にあった事があるからです。



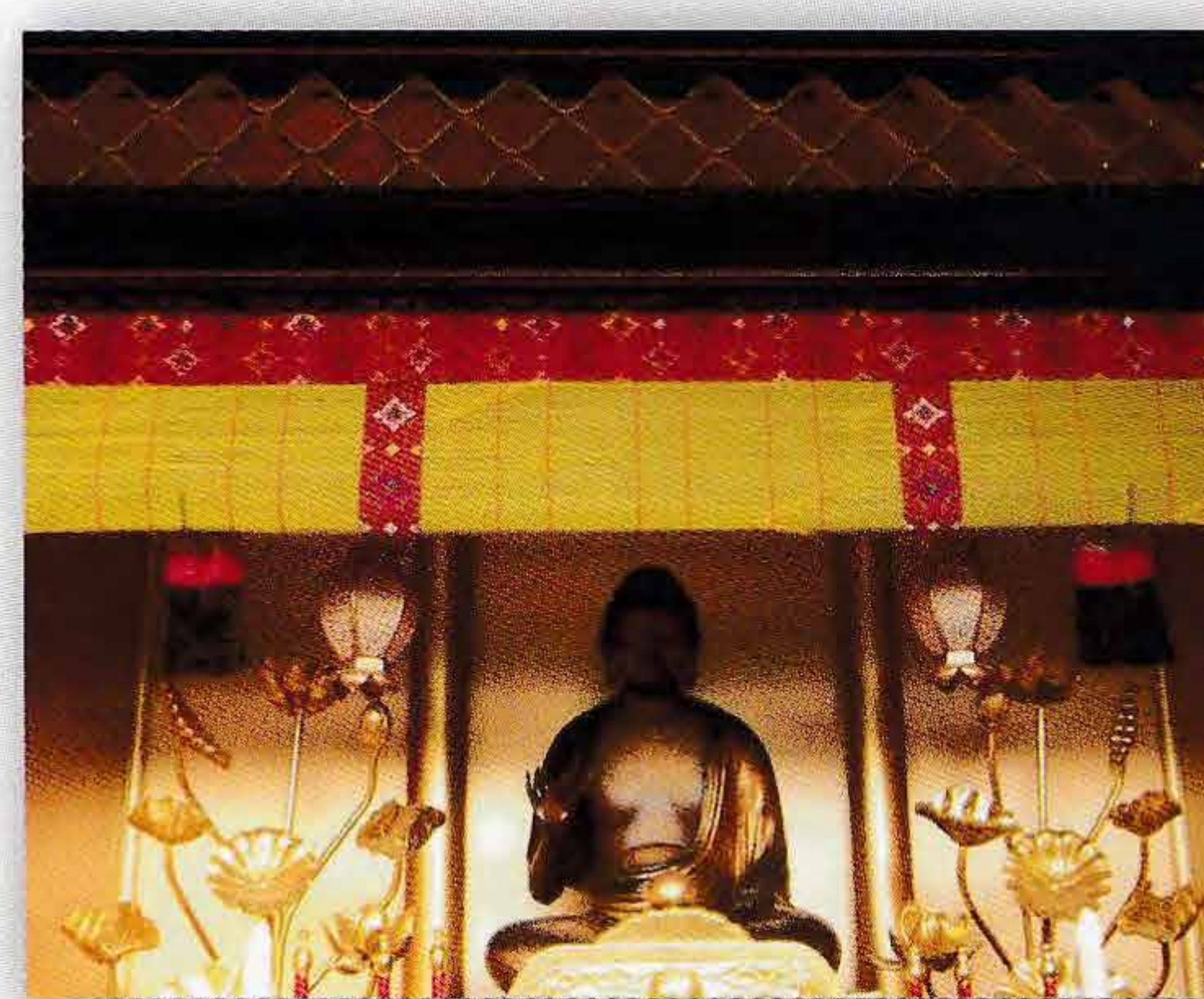
新しく設けた吸気口

^{みす}御簾を新調しました

屋内墓所「^{げんじょうでん}還浄殿」4階にある「永代供養合同墓」の阿弥陀仏の前に新しく^{みす}御簾を取付けました。少し奥行きが出来て良くなったと思いますので、お参りされた時に見て下さい。



取り付け前



取り付け後

法事を勤めることは、残った家族親族が、故人に導かれて縁を深める良き機会になると思います。

平成29年 年回表

- 今年の法事は右の表の様になります。参考にして各家の位碑などを調べて下さい。
- 25回忌は、される方もされない方もあります。
- おおむね3ヶ月前から受け付けています。まず日時を正覚寺と相談の上、予定を決めて下さい。

1 周忌	平成 28 年亡
3 回忌	平成 27 年亡
7 回忌	平成 23 年亡
13 回忌	平成 17 年亡
17 回忌	平成 13 年亡
23 回忌	平成 7 年亡
(25 回忌)	平成 5 年亡)
27 回忌	平成 3 年亡
33 回忌	昭和 60 年亡
37 回忌	昭和 56 年亡
50 回忌	昭和 43 年亡

春のお彼岸

3月18日(土)

■ 朝10時より

講師：奈良県・安養寺
松島靖朗師



あとがき

- 天皇陛下の生前退位、北方領土、米中韓との関係、原子力発電、災害復旧、東京オリンピック、豊洲新市場など、あげればきりが無いが、それぞれ良い方向に進展して欲しいものです。
- 天候不順や以前とは変わってきた極端な自然現象。又、天候だけではなく人も過激に変わってきた、と感じさせる出来事や事件が増えています。
- そんな中、2ページの「平和で毎日が明るく…」という意味の偈文を、毎朝の勤行で称え日々平安を願っています。
- 正覚寺では、月々色々な行事を開催しておりますので、どうぞご参加下さい。僅かな時間でも、心の平安を得て頂ける事と思います。

諸般の事情により協議した結果、春のお彼岸からその回向料を1霊 3,000 円に変更させて頂く事になりました。

誠に恐縮ですが、ご了承下さいます様お願い申し上げます。



発行所／〒737-0033 呉市寺本町 2-1 浄土宗 正覚寺

でんわ／ 0823-21-6086 Eメール／ shoukaku@orange.ocn.ne.jp

FAX／ 0823-22-9922 郵便振替／ 01300-5-13754